



新世紀のキャンパス

Campus of New Century

# 東京工科大学 蒲田キャンパス



地上20階地下1階建て全面ガラス張りの新校舎



地上7階建て、最新設備を備えた医療保健学部専用棟



1万1000㎡の広さに四季折々の花と緑が美しい「セントラルプラザ」

東京工科大学は、2010年4月に蒲田キャンパスを開校し、デザイン学部と医療保健学部の2学部を設置した。八王子キャンパスにある理工系の3学部(メディア学部、コンピュータサイエンス学部、応用生物学部)と、蒲田の医療・文化に寄与する2学部を合わせ、5学部による総合大学への一歩を踏み出した。

同大は1986年に工学部だけの単科

大学として開学。1999年にはメディア学部を設置、2003年には工学部を改組し、バイオニクス学部(現・応用生物学部)とコンピュータサイエンス学部を設置するなど、「実学主義」を教育の柱に大学改革を進めてきた。

東京大学から転身し、初代バイオニクス学部長を務めた軽部征夫学長は、「理事長からバイオをやりたいとオファーを受けた当初から、すでに医療系

学部の設置構想を持っていた」と明かす。21世紀の科学技術とされるバイオテクノロジーは、医薬品、化粧品、食品、環境、医療と幅広く応用できる。医療保健学部では、応用生物学部臨床工学技士コースを移管統合し、「看護学科」「臨床工学科」「理学療法学科」「作業療法学科」の4学科において、チーム医療を担う医療専門職を育成する。臨床教育を重視しながら、ICT(情

ICTリテラシーの習得やデザイン学部のスキル教育で活用される「PC演習室」



高輝度大画面プロジェクタと専用音響設備をもつ「プレゼンテーションルーム」

報通信技術)スキルの高い医療従事者の育成を目指すのが特長だ。都心型キャンパスの最大のアドバンテージは、学生の実習先である病院数が八王子よりはるかに多く、東京都と神奈川県をはじめ首都圏を中心とした病院へのアクセスが大変良好であることだという。またICTについては、ミッションにも「ICTに精通した技術者や多様なエキスパートの育成」を掲げ、

全学部共通のICT教育を行っている。こうした強みを生かし、電子カルテの普及など医療現場のICT化に対応する。駅から徒歩2分の都心型キャンパスが募集に及ぼした影響は大きく、志願倍率が5倍超に上る学科もある。

デザイン学部では、広告や映像表現、空間デザインなど、デザインをビジネスチャンスに結びつけられるブ

ロを育成する。入学時から学びの内容を限定せず、1・2年次にデザイン能力の土台となる「感性教育」を学び、2・3年次に表現のためのICTを「スキル教育」で学んだあと、3年次の終わりに3つのコースに分かれ専門性を高める。感性教育では、水族館に出かけフィールドワークをとおして作品を制作するなどユニークな教育を行っている。(取材・文/本誌 能地)



国際会議や講演会など大型イベントに対応した約550人収容の「大講義室」



女性専用スペースも確保した「学生ラウンジ」

研究発表やプレゼンテーションもできる「ライブラリー」



手前から透析室ゾーン、ICUゾーン、OPEゾーンに分かれた「クリニカルエンジニアリングラボラトリー」

ハンディをもつ人の日常生活行動(ADL:Active of Daily Living)を学ぶADL室

